

若い力を活かし明るく元気な津島市へ!!

◎子ども達が学び育てる環境を作る!

積極的に子ども子育て環境を整備します。特に学童保育の質的・量的充実を図り、働く親の支援と子供の居場所づくりを進めます。また、津島市出身者に対する独自の奨学金(修学支援)の創設を目指します。



◎地震・水害などの災害に備える!

地震や豪雨による木曾川や日光川の水害が想定されています。国や県と連携を図り、堤防改修等ハード面の整備を進めるとともに、自主防災会やコミュニティ推進協議会の活動推進などソフト面への支援も行います。

◎『繊維のまち』で活気を取り戻す!

日本の繊維業が再注目される中、尾州ブランド・津島ブランドの発信をより強化することで、産業振興と街づくりを行います。また服飾品を用いて駅前商店街の活用を図り、東海随一のファッション都市を目指します。



◎尾張津島天王祭を中心とした観光力を強化する!

ユネスコ世界無形文化遺産に登録された天王祭。津島神社を中心として観光客が誘致できるように、宿泊、交通、飲食等のインフラを一体的に整備し、国内外からの観光客を誘致できる街づくりを行います。

◎魅力ある地域・市街地を作り出す!

それぞれの地域が持つ特色を活かした街づくりを促します。特に天王通りについては津島神社参道としての景観を重視した再整備を、津島駅周辺は景観作りと機能集約を重視した再整備が出来るように取り組みます。



◎全世代の安心な生活を守る!

海部医療圏で唯一の二次医療機関である津島市民病院を中心として、地域の医療体制をしっかりと守るとともに、医療・介護・福祉の再構築を図り「地域包括ケアシステム」を推し進めます。

◎政策総動員で津島の人口を増やす!

今まで挙げた政策を同時進行的に行うことで、魅力ある津島市を創り出し、出生・転入を促します。また、定住や住み替えについて、住宅ローン補助制度や補助金制度を創設し、人口増加を目指します。



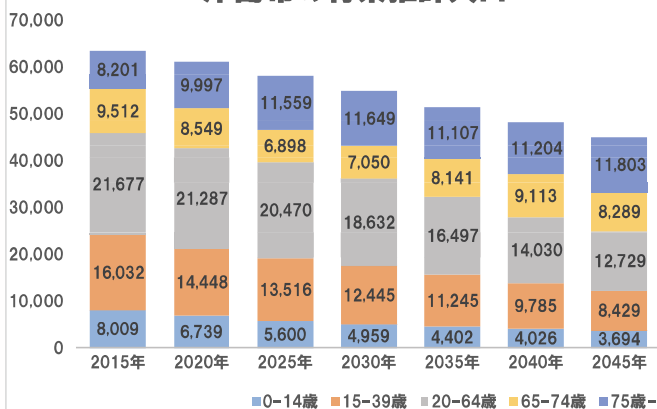
長屋やまとは、すべての方が、地域で助け合える温かく住みやすい津島市を目指しています。では、津島市は、今現在どのような状況にあるのでしょうか。

下のグラフは国立社会保障・人口問題研究所が出した『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』の最新の数字をグラフ化したものです。

平成31年の今、津島市は少子化・高齢化が同時進行し、人口減少の局面にあります。平成21年の66,032人をピークとして、年々数百人単位で減少を続けています。

平成10年前後に毎年700名程度であった出生数は355名(平成29年)とほぼ半減しています。

津島市の将来推計人口



一方で、高齢化率(総人口のうち65歳以上人口が占める率)は平成27年(2015年)の27.9%から、2045年には44.7%にも達します。

このような人口構造の変化は行政サービスや社会インフラへの大きな打撃を与えかねません。

政治にできることがあります!

まだまだ経験不足ですが、積極的に現場を見て、皆様の声を聞き、市政と地域住民をつなぐ存在になりたいと思います。

